

らくのへ 議会だより



六戸町議会
ホームページ
QRコード



【令和5年度予算】	
学校建設始動！	2
【予算特別委員会】	
新年度予算を聞く	4
【一般質問】	
学校教育関係、福祉行政ほか	8
【特集】	
4年間の軌跡	12

元気いっぱい 新1年生！

町内の小学校で4月7日、入学式が開かれた。4月から学校での新型コロナウイルス対策のマスク着用ルールが緩和され、4年ぶりに多くの新1年生たちがマスクを着用せずに式典に出席していた。

入学式後、教室に戻ると、担任教諭と一緒にジャンケンでおおはしゃぎ。笑顔を見せる1年生たち。（大曲小学校）

学校建設、始動！

当初予算、前年度より28・6%増

令和5年度の当初予算の新規事業は、(仮称)六戸町立義務教育学校六戸学園の建設。町立図書館建設。特定空き家の除却工事などです。

一般会計の当初予算
78億7900万円

令和5年度一般会計と特別会計の総額は、117億8367万円です。うち、一般会計は78億7900万円で、前年度より28・6%の増額となります。

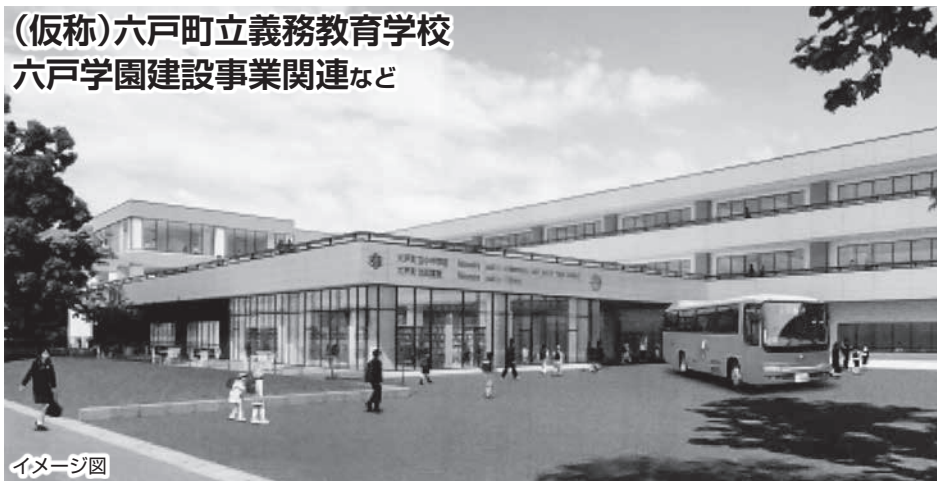
主な要因は、(仮称)六戸町立義務教育学校六戸学園建設事業や、農村整備事業負担金等の実施により、増加するものです。

その他、注目事業



- * 乳幼児インフルエンザ予防接種事業の対象者を中学3年生まで拡大
- * 町ホームページリニューアル
- * 館野公園施設改修

(仮称)六戸町立義務教育学校 六戸学園建設事業関連など



イメージ図

イメージ写真



空き家対策事業
1077万円

新規就農者育成総合対策 交付金 1800万円



まちの声

空き家対策に期待

私が住む地域でも、空き家が年々増加してきていると感じています。空き家は保安上の危険性があります。空き家になる前に、相談ができる体制になるように支援して欲しいです。



吉田 承彦さん
(上町・54歳)

まちの声

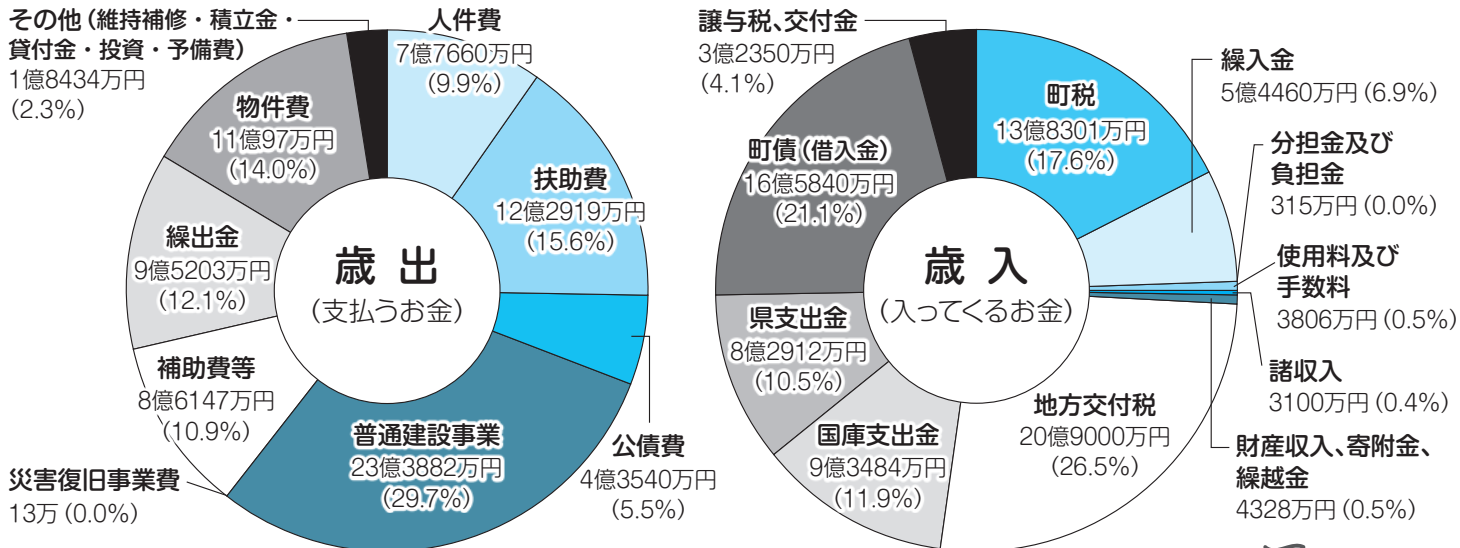
新しい学校、今から楽しみ

ぼく達は、今通っている六戸小学校の最後の卒業生になるそうです。少し寂しい気持ちもあるけど、新しい学校の教室は広いのかな、昼休みに今よりたくさんの友達とサッカーできるかな。とても楽しみです。



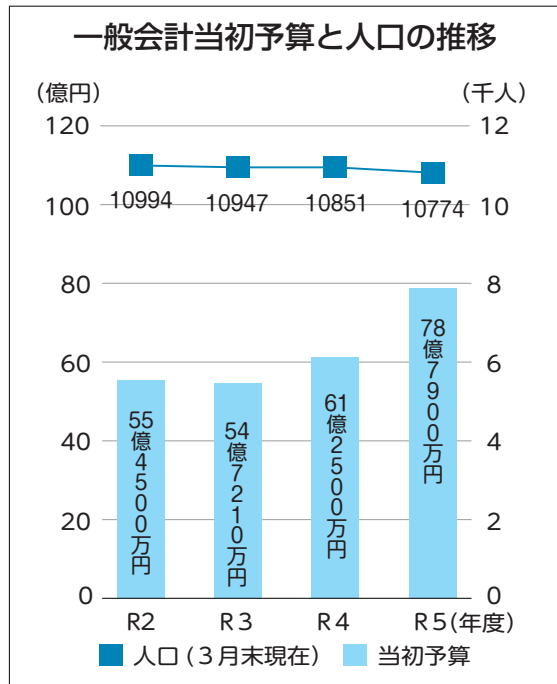
三戸葉多さん
(折茂新田・10歳)

一般会計 78億7900万円の内訳



財政用語の解説

- 【地方交付税】** 町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】** 町が行う事業に対して国・県から交付されるお金
- 【町債】** 事業の財源に充てるため国などから借りたお金
- 【人件費】** 職員の給与
- 【扶助費】** 児童手当や医療費助成
- 【公債費】** 事業を行うときに借りたお金の返済金
- 【普通建設事業費】** 道路や学校などの建設費
- 【補助費】** 補助金や交付金など
- 【物件費】** 旅費や消耗品費など



5年度 各会計の当初予算額

会計名	当初予算額	前年度対比
一般会計	78億7900万円	17億5400万円 28.64%
特別会計	国民健康保険	12億6746万円 △1047万円 △0.82%
	下水道	5億2634万円 884万円 1.71%
	農業集落排水	1億3974万円 △1157万円 △7.65%
	介護保険	14億3505万円 △8836万円 △5.80%
	後期高齢者医療	1億4469万円 △365万円 △2.46%
	国民健康保険診療所	3億9137万円 △3540万円 △8.29%
合計	117億8367万円	16億1336万円 15.86%

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません。

議会を傍聴しませんか？

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されていて、どなたでも傍聴できます。町政への知識を深め、町政を身近に感じるために、議会を傍聴しませんか？

次回は6月に改選後の初議会が開催されます。

☎ 議会事務局 ☎55-4547



3月定例会の一般会計、特別会計の予算を審査する予算特別委員会（杉山茂夫委員長）が、3月7日、8日に開かれました。審査の結果すべて可決となりました。委員から出された質疑を要約してお知らせいたします。



新年度予算を聞く



交付金の使い道

問 盛田嘉彦委員

※核燃料物質等取扱税
交付金事業の5千万円の
基金積立の目的は

問 小林企画財政課長

令和8年度に国民スポーツ大会が開催予定のため、競技会場となるメイプルスタジアムの改修工事に使用する予定です。

問 盛田嘉彦委員

改修の予算規模は

問 長谷教育課長

令和4年度の実施設計では、約1億円の見込みです。

※「核燃料物質等取扱税 交付金」とは：

原子力発電施設等の立地市町村及び周辺市町村に対し、市町村が実施する防災・安全対策、民生安定対策や地域振興策等に関する事業を対象に青森県から交付されるお金。

マイナンバーカード

問 下田敏美委員

マイナンバーカードの申請率が一部の交付金の支給要件に反映されると

聞いたが、当町の申請率と、交付金への影響は

問 円子町民課長

2月28日時点での申請率は、72・4%です。

問 小林企画財政課長

現在、交付金に影響はない見込みです。今後、マイナンバーカードの交付率等によっては変更も考えられるので、推移を見守っていききたいと思っています。



多くのヘクリエーター

問 種市正孝委員

多くのヘクリエーター育成事業の実績は。今後の活動予定は

問 高橋まちづくり推進課長

令和5年2月に熊本県合志市で開催の、地元サイコウ！映像祭に応募したところ、応募作品40

0点ほどの中から佳作に入賞しました。令和5年度は3か年事業の最後の年となるので、授業で作成する動画以外にも、町をPRする動画を何本か作成したいと計画しています。

問 盛田嘉彦委員

出産・子育て
応援給付金

問 吉田福祉課長

安心して出産、子育てができるように保健師の相談支援にあわせて、妊娠中に5万円、出産期に5万円、合計10万円の給付金の支給を行います。

問 盛田嘉彦委員

出産・子育て応援給付金の内容は

問 吉田福祉課長

安心して出産、子育てができるように保健師の相談支援にあわせて、妊娠中に5万円、出産期に5万円、合計10万円の給付金の支給を行います。

イベント

問 盛田嘉彦委員

今年は町政施行66周年になるが、六戸町の「6」にちなんだ数字のため、何か記念イベントを計画してみたい

問 高橋まちづくり推進課長

既存のイベント事業のタイトルに、66周年記念という冠を新たにつけた形等、予算の範囲内で対応したいと思っています。

ごみの不法投棄

問 松橋一男委員

ごみの不法投棄が減るように、どのような対策を行っているのか

問 円子町民課長

シルバー人材センターへ依頼し、4月から11月の間、町内の監視及び、不法投棄されているごみの回収作業を行っています。



なくならない不法投棄

診療所

問 盛田嘉彦委員

新設される整形外科外
来の診療内容は

答 辻浦診療所事務長

現在診療所にある機器
を使用し、内服薬や注射
など、やれる範囲での診
療をしていく予定です。

問 苫米地繁雄委員

外来収入の見通しは

答 辻浦診療所事務長

令和4年度の実績額は
1億3800万円の見込
みです。令和5年度は整
形外科の収入、検査も従
来どおりにできる可能性
があるため、1億520
0万円の見込みです。

自殺対策

問 松橋一男委員

自殺対策事業の具体的
な内容は

答 吉田福祉課長

六戸町のち支える自
殺対策協議会を設置し、
多職種の委員と、自殺総
合対策の推進、及び情報
交換等をおこなっていま
す。また、自殺者数が減
少するように啓発活動も
行っています。

空き家対策

問 盛田嘉彦委員

空き家を略式代執行で
1件除去する予定のよう
だが、その場所は

答 外山建設下水道課長

上吉田地区の建物です。

コロナワクチン

問 高坂茂委員

コロナウイルスワクチ
ン予防接種の今後の見通
しは。また、接種料金は
どのようになるのか

問 吉田福祉課長

高齢者や重症化リスク
の高い方は、年2回の接
種の予定です。それ以外
の方は年1回の接種の方
向で協議が進められてい
ます。接種費用は、来年
の3月までは国が全額負
担する予定です。

土地開発

問 下田敏美委員

当町は^{※1}農業振興地域
が多く、宅地等への開発
が思うように進まない部
分が多いと感じるが、
^{※2}農振除外は簡単にでき
るものか

答 佐藤農政課長

農業振興地域に指定さ
れている場合、農振除外
することは難しいです。

就農者

問 高坂茂委員

新規事業の就農者育成
総合対策交付金の対象者
と、その内容は

答 佐藤農政課長

新たに就農する方を対
象にしており、経営開始
資金として年間150万
円を3年間援助します。
また、経営発展支援とし
て、機械や施設、リース
料等に関して上限額75
0万円の助成もあります。

学校建設

問 山本実委員

(仮称)六戸学園の建
設工事は、当初予算で間
に合うのか。また、入札
方法は

答 長谷教育課長

コロナ禍で資材価格が
上昇していましたが、
徐々に落ち着いてきてい
る状況と聞いています。
85億5千万円の事業規模
で2か年事業で終了でき
る予定です。

問 小林企画財政課長

入札方法については検
討中です。

問 下田敏美委員

今年度実施の建設工事
の内容は

答 長谷教育課長

六戸高校校舎の解体及
び新校舎建築、機械設備、
それに伴う電気設備、図
書館の建設を予定してい
ます。

国民健康保険標準シ

問 高坂茂委員

国民健康保険標準シ
テムとはどのようなもの
か

答 円子町民課長

国保事務は、法令等に
基づき各市町村において
実施されていますが、各
市町村で運用に違いがあ
ります。今回の標準シス
テムを導入することで、
国保業務に関する資格事
務などを全国統一の標準
的な仕様に移行し、業務
の効率化を進める予定で
す。

防災無線

問 高坂茂委員

防災無線の音が聞き取
りにくい場所があるよう
だが、改善する予定は

答 館総務課長

風向き等の影響で、ど
うしても聞き取りにくい
場所もあります。音量等
の調整はある程度はでき
ますが、劇的な改善は難
しいのが現状です。町で
はスマートフォンアプリを
活用し、情報を配信して
いますので、アプリを
活用し、情報を確認して
いただきたいと思います。



診療所の整形外科は毎週火曜、午前中のみ
です。診療内容等、詳細は診療所までお問い
合わせください。

※1「農業振興地域」とは：
農業の振興を促進するこ
とを目的とする地域で、市
町村が将来的に農業上の利
用を確保すべき土地として
指定した区域です。
※2「農振除外」とは：
農業の振興を促進する土
地において、農地を宅地や
駐車場にしたい場合に行う
農業振興地域の農用地区域
の指定を外す手続きのこと。

町では、災害などの緊急時における、情報
伝達手段として、情報配信アプリ「ろくの
へ防災・行政ナビ」を運用しています。
ダウンロードし、ぜひご利用ください。



iPhone用



Android用



トミヨ属淡水型(イバラトミヨ)～体長5 cm程度のトゲウオの仲間の淡水魚です。公園北側の湿地帯に
生息しています。環境省では「絶滅のおそれのある地域個体群」に指定されています。ピンポン玉ぐら
いの巣を作るのが特徴です。

3月定例会で決まったこと

補正予算

◆一般会計2571万円を減額

令和4年度一般会計予算では、2571万円を減額し、歳入歳出の総額67億8759万円となりました。事業の確定や見込み額の精査によるものです。うち、補正の主な内容は次のとおりです。

- ・スクールバス車内置き去り防止システムほか (126万円)
- ・ふるさと納税寄付謝礼 (461万円)
- ・町内会防犯灯電気料補助 (142万円)
- ・道路除雪業務ほか (853万円)
- ・新型コロナウイルス感染症予防のために空気清浄機ほか (262万円)

このほかに、各特別会計も補正計上されました。(次ページをご覧ください)

条例改正

◆国民健康保険での出産育児一時金の支給額の変更

出生育児一時金の金額が改定されることに伴い、支給額が8万円引き上げとなります。なお、改正後の出生育児一時金の総支給額は、町国民健康保険条例施行規則の加算額と合わせ50万円となります。

負担付贈与

◆青森県立六戸高等学校の土地建物等を六戸町へ

青森県立六戸高等学校の土地建物等を六戸町立義務教育学校及び六戸町立図書館として利用するため、青森県所有の土地建物等を受納するものです。



町へ贈与された六戸高等学校

町道認定

◆新たに2路線を町道として認定

- ・路線名
- 第2館野線
- ▽起点

六戸町大字犬落瀬字柴山3番地157

▽終点

六戸町大字犬落瀬字柴山4番地168

第3館野線

▽起点

六戸町大字犬落瀬字柴山4番地159

▽終点

六戸町大字犬落瀬字柴山39番地68

契約

◆小松ヶ丘処理区流域下水道接続20工区(処理場撤去)工事内容変更

工事着手後に構造物取壊費及び土工費が追加されたことによる増額です。

・契約先

(株)佐藤建設工業

・契約金額

(変更前) 2億7369万円

(変更後)

2億8609万円

傍聴席から意見



小中一貫校開校に向けて頑張って

教育関係の方々、小中一貫校開校に向けて大変でしょうが頑張ってください。スクールバスがある事で、子供達の安全が守られていると思います。(60代 女性)

一般質問の傍聴ありがとうございました。議会だよりに掲載されている答弁は要約してお伝えしていますので、実際に傍聴してもらえれば、もっとたくさん町の事を知ることが出来ます。町のホームページには、定例会の会議録も掲載されていますので、後日確認してもらえればと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

議員活動の報告を

3月の議会だよりに全議員の年間の活動内容の報告、議会参加日数等の報告があげばいいと思います。(60代 女性)

ご意見ありがとうございました。

次回の議会だよりの記事内容の参考にさせていただきます。

審議した議案の **賛** **否**

第1回定例会(開会3月3日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
専決処分	令和4年度一般会計補正予算(第6号)(2210万円を増額補正)		承認	
契約の一部変更	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び青森県市町村総合事務組合の規約の変更(令和5年6月1日から、構成団体に八戸市が加入し、共同処理する事務のうち、市町村税等の滞納整理に関する事務に、八戸市及び十和田市を加える)			
条例	六戸町議会の個人情報の保護に関する条例(個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、議会が地方公共団体の機関から除外されるため、六戸町議会の個人情報の保護に関し必要事項を定める)			
	六戸町個人情報保護法施行条例(個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、六戸町個人情報保護条例を廃止し、必要事項を定める)			
	六戸町学童保育所設置条例の一部を改正する条例(六戸小学校第一なかよし会の定員を適正規模の40人とする)			
	六戸町子ども医療費助成条例の一部を改正する条例(子ども医療費の助成の実施期間を3年間延長)			
	六戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例(健康保険法施行令等の一部を改正する政令の公布に伴い、出産育児一時金の額を改正)			
	六戸町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例(道路法施行令の一部改正に伴い、準用している道路占用料の額を改定)			
町道認定	町道の路線認定(道路法の規定に基づき、新たに館野地区の2路線を町道の路線として認定)			
令和4年度補正予算	一般会計補正予算(第7号)(2571万円を減額補正)	全員賛成	可決	3月9日
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)(既定の歳入予算を調整)			
	下水道事業特別会計補正予算(第3号)(1億5373万円を減額補正)			
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)(250万円を減額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第3号)(8125万円を減額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)(818万円を減額補正)			
	国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)(474万円を増額補正)			
令和5年度予算	一般会計予算(78億7900万円。前年度より17億5400万円増)			
	国民健康保険事業特別会計予算(12億6746万円。前年度より1047万円減)			
	下水道事業特別会計予算(5億2634万円。前年度より884万円増)			
	農業集落排水事業特別会計予算(1億3974万円。前年度より1157万円減)			
	介護保険事業特別会計予算(14億3505万円。前年度より8836万円減)			
	後期高齢者医療特別会計予算(1億4469万円。前年度より365万円減)			
	国民健康保険診療所事業特別会計予算(3億9137万円。前年度より3540万円減)			
負担付贈与の受納	負担付贈与の受納(青森県立六戸高等学校の土地建物等を六戸町立義務教育学校及び六戸町立図書館として利用するため、青森県所有の土地建物等を受納する)			
工事の契約	工事の請負契約の変更(小松ヶ丘処理区流域下水道接続20工区(処理場撤去)工事、構造物取壊工及び土工の増加のため金額変更)			



もりた よしひこ 議員
盛田 嘉彦

学校建設に地元企業を

積極的に活用していきたい — 町長

問 令和7年度（仮称）六戸学園開校に向け、町内の企業、事業所を積極的に参入させる考えはあるか

町長 町始まって以来の大規模な事業のため、町内をはじめ地域の企業も積極的に活用し、地域一丸となって開校を目指していきたいと考えています。令和5年度より建築工事に着手します。工事発注については様々な要素を基に検討中です。

問 開校に向けて、スクールバスの台数、送迎経路、運行時刻等どのような計画で進める予定か

町長 令和4年度、ダイヤ編成支援シム

テムを導入し、（仮称）六戸学園の建設予定地を中心に、バスを回送した場合のシミュレーションを行いました。現段階では、町保有のバスと、民間バスの台数でスクールバスの台数は賄える見込みです。バス停や送迎経路、時刻表は検討中で、令和6年度には必要な届出等を提出する予定です。



子どもたちの登校の足となっているスクールバス

※ヤングケアラーの実態把握は

把握できていない — 町長

問 町内のヤングケアラーについて、状況を把握しているのか

町長 調査等は行っていませんが、把握はできていませんが、問題を抱える児童生徒に対しては、教育委員会と情報を共有し、ケースに

応じて必要な支援や、関係機関との連携調整を行っています。

問 判明した場合の対応は

町長 障害福祉や児童福祉、高齢福祉などの担当部署で必要な支援を行います。福祉課に

児童家庭相談窓口を設置していますので、関係機関と連携しながら対応していきます。

※「ヤングケアラー」とは…
大人が担うと想定されている家事や、家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。

ひとり親世帯への支援は

さまざまな支援が行われている — 町長

問 ひとり親世帯に対する支援の内容は。また、新たに検討している支援はあるのか

町長 児童扶養手当の支給や就学資金、生活資金の貸付、ひとり親医療費助成や資格取得の費用の助成等の支援が行われています。現段階

では、新たな支援については考えておりません。

問 ひとり親世帯には延長保育や、町内の病児保育の支援が必要ではないか

福祉課長 延長保育は、保育所の人員等の問題により19時までが限度であり、病児保育

については看護師、保育士を見つけなければならぬため、現状は難しいと考えます。

※「病児保育」とは…
主に保育所に通う子どもが病気にかかった場合に、家庭での保育が困難な保護者の方に代わって保育士や看護師が保育、または看護することをいう。

図書館移転後の

利活用は

住民ニーズを踏まえ検討ー町長

問 ※地域子育て支援拠点事業の実施状況

は

町長

町内3か所のこども園に委託して実施しています。令和3年度は、年間延べ約1300組の親子に利用されています。

問 子育て支援ネットワークづくりとファミリー・サポート・センターの実施は

町長

子育て支援ネットワークづくりは、こども園の地域子育て支援センターが中心となり、子育てサークルの育成や活動を支援し、母親同士の交流や情報交換、相談の場を提供しています。ファミリー・サポート・センターは、不定期の一時保育利用に対する

子育て支援ネットワークが少ないことから、現在こども園に委託している、一時預かり事業で、ニーズに応える体制を取っています。そのため、実施の検討は行っていない状況です。

※「ファミリー・サポート・センター」とは…

保護者や未就学の子供が交際する支援事業を行うために設立されたもので、保育園や幼稚園など保育施設としての機能ではなく、地域における相互援助組織のこと。

問

図書館の移転後に、子育て支援拠点施設（絵本や遊具のこども広場等）や町民サロン（自販売機型カフェや交流・談話スペース）として活用しては

町長

子育て支援拠点施設の事業は、町内3か所のこども園の施設で実施されているため、図書館施設での実施は考えておりません。また、町民サロンとしての活用についても、現在利用する計画はありませんが、現図書館の移転後の施設利用については、様々な事業やニーズに合わせ、有効活用を図るよう検討していきたいと思っています。

問

現図書館は、エアコンも整備され、児童図書もある。高齢者向けに地域包括支援センターがあるように、子育て支援センターとして、冬場でも室内で遊べる子育て支援の拠点施設として考えては

町長

子育て支援施設を町でつくり、提供するものは、当町のような規模の自治体では容易なことではありません。ただその中で一番大事なことは、新しい義務教育学校ができ、今まで知らない者同士が、同じ立場で議論をすることで、町全体の立場で意見を集約できるようにになると、これまでとは違った考えで歩み出せるのではないかと期待しています。

問

今後どう有効活用していくかは、子ども向け施設が良いか、住民向けに別の活用方法があるのか、住民が同じ視点で考えることで、解決できるものと願っています。

町長

現図書館はWi-Fiがあるので、スマホもパソコンも使える。勉強や仕事、打合せの談話室として考えては
今のご質問の趣旨と同じように、図書館のスペースを有効的に、自由に使えるようにするのも可能かもしれません。様々な意見を集約しながら、検討していきたいと思っています。



おしげ 杉山 茂夫 議員

※「地域子育て支援拠点事業」とは…
保護者や未就学の子供が交流し、仲間づくりや子育てに関する情報交換と、身近な地域での相談や支援などを行う場。



移転が決まっている町立図書館



まつはし かず お 議員
松橋 一男

空き教室の利活用は

多目的なスペースとして活用 — 教育長

問

(仮称)六戸学園
開校から4年後には
児童生徒の減少により、
空き教室ができると思う
が、その利活用は

教育長

特別な配慮が
必要な児童生徒
の学習の場、少人数制の
学習の場など、多目的で
実用的なスペースとして
の活用を考えています。

問

空き教室を利用し、
1クラスあたりの児
童数を30人にしては

教育長

国が定めた教
員数の定数があ
るため、それを上回る人
数が必要であれば、町独
自の採用になります。そ
のため、現状では、その
定数に沿った教員配置に
なると思います。

シニアカー向けの

歩道整備は

新設道路では整備 — 町長

問

高齢者の移動手段
としてシニアカーが
利用されているが、シニ
アカーが通れるほど幅が
ある歩道はあまりないよ
うに見受けられる。今後、
歩道を整備する考えは

町長

新設される道路
については道路構
造令やその他の構造に関
する基準に基づき整備し、
通行には支障がないと思
われます。しかし、既存
の道路については段差解
消や転倒防止等の課題が
あることを踏まえ、シニ
アカーの利用状況の把握
に努めていきたいと思
います。



シニアカーは歩行者に分類されます

※汚泥肥料に補助する考えは

国の動向を見極め決めていきたい — 町長

問

肥料高騰対策とし
て、また、肥料の国
産化を後押しする意味で、
汚泥肥料の購入に補助金
を出す考えは

町長

汚泥を原料にし
た肥料は、重金属
を含むデメリットが懸念
されますが、国も重金属
管理の手引書を作成する
など対策をとっています。
一般に利用される科学肥
料と比較すると、安価で
あり、町としても国の動
向を見極め、推移を見守
りたいと思います。

※「汚泥肥料」とは…

汚泥を乾燥や粉碎、発酵
させることにより肥料とし
てリサイクルするものです。

その後を調査

1月30日、議員全員協
議会で一般質問の検証を
行いました。

行う上での改善点を確認
しました。

議会運営委員会で 質問の精査

令和元年6月から令和
4年9月までの定例会に、
延べ35人141項目の一
般質問がありました。

一般質問の検証の流れ
として、定例会で出され
た一般質問を大まかな質
問事項と質問要旨に分け、
町側の答弁者及び担当課
を項目ごとに整理します。
質問した内容のうち、町
側からの回答の必要性な
どを精査する作業を行いま
した。

全員協議会で検討

検討の結果、今回は1
項目を町側から回答を求
める事項としました。
また、検証の方法、必要
性などの意見も出され、
今後の一般質問の検証を

町側へ回答を求めた 一般質問事項

◆具体的質問要旨
七百地区内の既存歩道
が狭く、段差がある。障
害者の車椅子も通れる幅
の広い歩道整備をお願い
したい

町からの回答

道路構造令では、歩行
者の交通量に応じて歩道
を設置することと定めら
れています。そのため、
幅員については歩行者の
交通の状況を考慮するこ
ととされているため、歩
行者の増加等により道路
を改築する場合は、道路
構造令の規定に基づく幅
員としたいと考えていま
す。
現在、歩行者の増加が
みられないため、既存歩
道の拡幅の計画の予定は
ありません。



会議での発言

先日、某紙でこんな記事を目に
した。

その方は国鉄に入社し分割民営
化を経てJR九州の社長になった
方で、民間企業に出向した時の体
験を書いていた。驚いたのは次の
一文である。

会議も国鉄とは全く違った。発
言者の少ない国鉄と違い、会議で
発言しないと次からは呼ばれなく
なる。発言しない人の動機は自己
保身にあり。会社のためには皆発
言すべきだという考えからだ。

そこで4年間の自身の議員生活
を振り返ってみた。一般質問は最
初の頃は2回に1回のペースであ
ったが、最後の頃には3回に1回
くらいにペースダウン。予算特別
委員会でも発言が多い方ではない。
決算特別委員会でも同様。このま
まではいけない。会議に呼ばれな
くなってしまふ。

今期の議会定例会は終わってし
まった。今後も町民の声を届ける
ため、会議で発言できるように頑
張りたい。

議会広報委員 松橋 一男

地方自治の進展に貢献 ～全国議長会表彰、県議長会表彰～

青森県町村議会議長会
第73回総会が2月27日に
開かれ、地方自治の進展
に大きな役割を果たした
町村議会議員に対して表
彰が行われました。

町村議会議員として15
年以上在職し、地方自治
に実績があった者として
川村重光議員に全国議長
会表彰を、19年以上在籍
した円子徳通議員、11年
以上在職した下田敏美議
員、高坂茂議員、久田伸
一議員、杉山茂夫議員が
それぞれ県議長会表彰を
受けました。



3月3日開会の3月定例会で
表彰の伝達を行いました。



杉山茂夫議員



久田伸一議員



高坂茂議員



下田敏美議員



円子徳通議員



川村重光議員

4年間の議会活動の軌跡をたどる

この4年間で行った議会活動の主な内容をまとめました。
定例会や臨時会、常任委員会の活動を皆さんに改めてお知らせします。

本会議

年度	月日	主な内容
令和元年度	5月	●第1回臨時会 新体制で議会がスタート。正副議長等が決定。
	6月	●第2回定例会 契約…総合体育館の老朽化に伴い、防水工事等の大規模改修(Ⅱ期工事) (7745万円)
	11月19日 ~22日	●県外行政視察(徳島県松茂町議会、那賀議会、高知県黒潮町、四万十市) 議会改革の推進、産業振興の推進、環境づくりを調査研修のために行いました。 ※1月、新型コロナウイルス感染症が全国的に流行
令和2年度	6月	●第2回定例会 契約…総合体育館の老朽化に伴い、体育館の玄関や外壁等の大規模改修(Ⅲ期工事) (1億1055万円) 一般会計補正予算(第3号)を可決 →コロナウイルス対策予算が主となった。返還率50%のプレミアム商品券の予算も含まれた。 「六戸町長及び六戸町議会の議員の期末手当の支給の特例に関する条例」を可決 →令和2年6月に支給される町長及び議員の期末手当を、コロナ対策費へ充てるため、支給額を20%削減しました。
	9月	●第4回定例会 「六戸町課設置条例の一部を改正」を可決 →「産業課」を「農政課」へ名称を改め、新たに「まちづくり推進課」を設置しました。 「六戸町空家等対策協議会条例」を可決 →空家等の対策について協議する場として新たに設置されました。
令和3年度	6月	●第3回定例会 「六戸町印鑑条例の一部を改正する条例」を可決 →マイナンバーカードを利用し、印鑑証明書が取得可能になりました。
令和4年度	6月	●第2回定例会 一般会計補正予算(第1号)可決 →議会にタブレットが導入されることとなりました。
	7月	●第3回臨時会 契約…小松ヶ丘処理区流域下水道接続20工区(処理場撤去)工事 (2億5300万円)
	9月	●第4回定例会 六戸町議会会議規則の一部を改正 →議場及び委員会の会議室内での情報通信端末機器を使用するための規定を整備しました。
	9月30日	●要望書 診療所へ発熱外来の開設するよう町へ要望書を提出しました。
	10月18日 ~21日	●県外行政視察(島根県飯南町議会、鳥取県琴浦町議会、江府町議会) 移住・定住、産業振興の推進、義務教育学校を調査研修のために行いました。
12月16日	●六戸高等学校生徒による模擬議会	

常任委員会 総務常任委員会

年月日	主な調査事項	主な内容
令和元年 9月19日	学校教育に関して教育課より聞き取り調査	少子化の進展に伴う学区の見直しや、六戸高校跡地の利活用等、町内の学校教育に関する現状等について調査
令和元年 11月5日	六戸消防署の視察	地域の防災や救急救命体制についてなど学ぶ
令和2年 2月8日	P T A役員、スポーツ少年団指導者等と意見交換会を開催	町の教育力を高めるをテーマに調査
令和2年 3月19日	六戸中学校校舎の現地調査	六戸中学校校舎の、老朽化に伴う雨漏りなどの調査
令和2年 8月18日	総務課、企画財政課、教育課から聞き取り調査	新型コロナウイルス感染症への対応。第5次六戸町総合振興計画を含む今後の町づくり。リモート授業に向けた準備状況、臨時休校等に伴う学校行事の調整状況について
令和3年 2月19日	教育課から聞き取り調査	小中一貫校についての情報を確認情報共有を行った。
令和4年 6月30日	義務教育学校建設予定地を視察(六戸高等学校敷地内)	令和5年度から建設が始まる義務教育学校の予定地を現地調査
令和4年 7月1日	タブレット活用の現状を視察(六戸小学校)	タブレットがどのように授業で活用されているのか、教員のICTについての習熟度等について確認等を行った。
令和4年 12月21日	総務課と会計課に関して調査	六戸町職員の定年等。六戸町議会の個人情報の保護に関する条例について。令和4年4月1日から現在までの基金管理運用状況と債券運用状況について調査

常任委員会 産業民生常任委員会

年月日	主な調査事項	主な内容
令和元年 8月5日	産業課、建設下水道課の現状調査	事業内容等の現状を確認、調査
令和元年 8月23日	町民課、福祉課の現状調査	事業内容等の現状を確認、調査
令和2年 2月15日	町内の農業者、商業者、観光協会等と意見交換会を開催	六戸町の産業振興をテーマに、危惧しているところ、農業と商業の連携、将来の見通しについて課題を調査
令和2年 8月4日	福祉課、産業課の現状調査	福祉課に係るコロナ関係を含めた福祉対策、産業課に係るコロナ関係の経済対策について
令和2年 8月20日	スマート農業実演会の現地視察(大原地区の圃場)	スマート農業実演会の現地視察を行い、スマート農業について理解を深める
令和2年 11月5日	館野公園の今後の活用を調査	館野公園再生について、建設下水道課より聞き取り調査
令和2年 12月23日	国民健康保険診療所の現状調査	町診療所の近年の経営状況、訪問看護部門の状況、コロナへの対応について確認
令和3年 8月・9月 11月・12月	福祉課より聞き取り調査	福祉課からコロナウイルス感染症の状況及び予防接種の状況を調査
令和4年 8月22日	8月豪雨の被害状況視察	8月豪雨の被害箇所を現地調査

六戸町役場



六戸町議会議員任期満了記念（町長・副町長・教育長・議会事務職員とともに）

町の皆様に感謝

令和5年4月末日をもって、議会を構成する議員の任期が満了となります。

平成31年春の改選以降、六戸町議会は町議会議員として町民の皆様の負託に応え、町政の発展への努力を続けてまいりました。

新体制発足後も、六戸町議会への変わらぬご支援とご理解をいただけますよう心よりお願い申し上げます。

六戸町議会

議長	川村重光
副議長	下田敏美
議員	山本繁雄
議員	山本実
議員	高坂徳通
議員	久坂茂一
議員	杉山伸一
議員	長根茂夫
議員	種市一孝
議員	松橋正彦
議員	盛田嘉彦

編集後記

令和5年4月30日をもって議員の任期が満了し、私たち広報委員も今回の議会日より116号の編集を持って最後となりました。この4年間、ご愛読された町民の皆様へ、改めて感謝申し上げます。

特にコロナ禍にあって、町議会と町民を結ぶ大切な役割を担っているとの思いで、「まちの声」、「傍聴席から」、「キラリ六戸人」など町民参加型の記事を掲載し、今年度で閉校する六戸高校生の模擬議会の様子を皆様にお届けできたことは幸いでした。

残念なことに、議会広報誌の全国表彰の目標は達成できませんでしたが、その表彰の夢は、次期の広報委員会に委ねることにして、今期最後の編集後記と致します。

広報委員 杉山 茂夫
議会広報委員会
委員長 盛田 嘉彦
副委員長 松橋 一彦
委員 川村 重光
杉山 茂夫
長根 一孝
種市 正彦

発行責任者

議長 川村重光